



▲ 緊密かつ強固な結びつきで地域の活性化に寄与していきます

学市連携を強化 包括連携協力に関する 協定を締結

1月19日、市と学校法人晃陽学園および盈科学園は、包括連携協力に関する協定を締結しました。平成28年2月9日に防災・防犯活動分野に関する協定を締結していましたが、まちづくりや医療・福祉、教育などさまざまな分野でも包括的に連携し、地域の活性化を進めていきます。

齋藤理事長は「生まれ育った古河で、今後も市民と心の通った交流を続け、市民のために貢献したい」と話しました。



▲ 左から神原彩瑛さん、猪瀬侑花さん、砂川萌々菜さん、秋葉真優さん、中村優花さん

新たな桃むすめが決定 古河桃むすめ記者発表

平成30年から活動する古河桃むすめの記者発表および委嘱状交付が、1月27日に市役所総和庁舎で行われました。

応募総数21人の中から新たに選ばれた砂川萌々菜さん、猪瀬侑花さん、秋葉真優さんと前年からの桃むすめ2人の5人で活動し、古河市のイベントに花を添えてくれます。

古河観光大使として、古河桃まつり等で皆さんをお迎えします。

伝統の食文化を味わってみませんか 2月7日は 「ふなの日」です

2月7日、古河鮎甘露煮組合が市内の特別養護老人ホーム9施設に鮎の甘露煮680人分と感染症予防のマスク4,500枚を贈呈しました。

200年以上続く古河の伝統食文化である鮎の甘露煮は、10時間以上煮込み骨までやわらかいのが特徴です。カルシウムたっぷりの健康的なふるさとの味を、ぜひ味わってみませんか。



▲ 古河の名物を食べて、これからも元気にお過ごしください

真冬の寒さも吹き飛ばす盛り上がり 第1回 寒の土用うなぎまつり



▲ 焼きたての香ばしい香りが漂っていました

1月21日、JR古河駅西口おまつり特設会場で、古河商工会議所主催の「第1回寒の土用うなぎまつり」が行われました。市内のうなぎ店4店がうなぎ弁当を実演販売したほか、市内飲食店等も出店。さいたま市浦和区と長野県岡谷市からのうなぎ出店ブースにも長蛇の列ができ、大盛況となりました。

寒さに負けず、何回飛べるかな 第43回 古河市小学生なわとび大会

2月3日、古河はなもも体育館で「第43回古河市小学生なわとび大会」が開催されました。

冬場の運動不足を解消し、体力づくりの向上を目的としています。延べ428人の小学生が参加し、うしろとびや二重とび、大縄跳びのチームジャンプの回数を競いました。二重とびの最高記録は60秒で152回。大人顔負けの迫力でした。



▲ みんなで息を合わせて飛ぶチームジャンプ

子どもたちの力作が勢ぞろい 第12回古河市 手をつなぐ子らの作品展



▲ 工夫を凝らした作品がたくさん展示されました

1月26日・27日、とねミドリ館で「第12回古河市手をつなぐ子らの作品展」が開催されました。

市内小中学校や境特別支援学校に在籍する児童生徒の作品が所狭しと展示され、来場者の目を楽しませていました。

どの作品からも子どもたちの思いや元気いっぱいな様子が伝わってきました。